

様式2 令和5年度 清瀬市立 清瀬第七小学校 学校評価表											
学校教育目標			○健康で強い子 ○思いやりのある子 ◎よく考える子			育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動					
【目指す学校像(ビジョン)】			児童が楽しく学べる学校、保護者・地域と共に児童を育てる学校、教職員が協力して主体的に働く学校			【育成を目指す資質・能力】 ○健康で強い子…すんで健康保持増進に努める意欲、基礎的な運動の技能、健康についての知識 ○思いやりのある子…他者の気持ちを理解する力、共感できる力、他者との違いを認める力 ○よく考える子…基礎的な知識・技能、情報活用能力、問題発見・解決能力、自分の思いや考えを豊かに表現する力					
【目指す児童・生徒像】			主体的に学び、互いに認め合い、支え合い、高め合う児童			【特色ある教育活動】○学校図書館を活用した問題解決能力の育成…調べ学習室の充実と活用、タブレット端末などICT機器の活用促進 ○障害者理解の促進…通常学級と特別支援学級との交流学習、特別支援教室についての情報発信					
【目指す教師像】			向上心をもち、協力しながら主体的に働ける教師								
前年度までの学校経営上の成果と課題						【成果】○図書資料やタブレット端末活用を活用した授業研究 ○学校ホームページによる情報発信と閲覧の啓発 ○コミュニティスクールへ向けた地域人材、資源の活用 【課題】○アセスメントに基づく情報活用能力の育成 ○体力向上を図る体育の授業改善、取り組みの一層の充実 ○コミュニティスクールとして地域協働で人間性を育む土台作り					
柱	具体的方策	自己評価		学校関係者評価				次年度以降の改善方策			
		取組指標	成果指標	課題及び次年度以降の改善方策(案)		学校関係者による「自己評価」についての評価		学校関係者評価の結果を踏まえた改善方策			
確かな学力の向上	授業改善推進プランの作成などの取り組みを通して授業改善を行い、児童の学習に対する満足度を高める。	3	3	各々の教職員が、授業改善向け児童の課題を数値化したり、具体的な手立てを講じたりしながら授業改善を行ってきた。その結果、平均点の向上が中・高学年が見られている。児童アンケートで80%以上の児童が学習に対して肯定的な回答をしている。今後は「少し満足」と答えた階層を「満足」に挙げるためにも授業改善を継続していく。		・保護者がわかりやすい授業、学力向上に対して「わからない」という回答が9.1%から5.9%に減った。これは明らかに数字や子どもの反応に現れている証拠。 ・「授業改善推進プラン」の重点ポイントは何か、児童の能動的学習が期待されるタブレット環境の活用に遅れないか。ソサエティ5.0の世界観を受け止められているのか。児童生徒の満足度の根源、主体性に向けた技法の改善。校内研究チームの成果を各教科へと結びつけることを期待します。 ・先生がアドバイザーとして子どもが自ら課題を持ち対話的に授業を深めていくという内容を7～10月はじめまでの教育活動に感心してしまいました。 ・日々の学習や行事のタイミング・開催方法など工夫が多くありがたいです。 ・授業の質の向上は教育の根幹、先生方のたえない取組に敬意を表します。授業準備等にゆとりあたる時間が増えることを願っています。 ・ぐんぐんタイムや校外学習、主体的な学び、ゲストティーチャーなど子供が興味を持ち、楽しんで学習していることによってよい結果が出ているのではないかとと思う。				○校内研究では、児童のアセスメントを2度行った結果から、児童がより主体的に学習に取り組めるようになったことが分かった。次年度はキャリア教育の推進を図りながら、学力の向上を目指し、授業改善を行っていく。 ○校外学習やぐんぐんタイム、ゲストティーチャー授業などは次年度も引き続き行い、児童の意欲向上を図りたい。 ○タブレットの持ち帰りについては、次年度更に活用できるような年度初めに希望調査を行い、ランドセルが重くなりすぎないよう工夫する。	
	アセスメントを活用し、実態に合わせて情報活用能力を伸ばす指導を行う。	4	3	アセスメントを事前に行うことにより児童一人一人の実態を詳細につかみ、情報活用能力を着実に伸ばし、児童の調べることへの意欲の向上につながった。調べた文章の要約や、相手意識をもった周囲のニーズに適した学習が今後の課題。調べ学習や情報を活用した授業においてニーズを読み取り調べる内容を選択する指導も併せて行っていく。		・アセスメントを取ることは、児童の個別最適な学びにつながるので良いことだと思います。自分には自分なりの学びがある、考えがある、それを安心して貫ける場づくりがまず先に必要になると思います。 ・アセスメントの視点は、児童のどこに置かれたのでしょうか。指導において、Gigaスクールの理念による児童個別学習と情報活用能力向上の成果は評価できます。ひと工夫ですが、「自己調整学習」を尊重して、意欲向上策を展開してください。 ・日々の学習や行事のタイミング・開催方法など工夫が多くありがたいです。 ・アセスが順調に活用されており、ここまでどれほど学ばれたか感銘を受けました。 ・学習発表会を通して、自分たちで考え、調べ、話し合うということができてきつつあるのだらうと実感した。自己満足ではなく、相手のニーズの本質に気づき表現できたらすばらしいです。				○校内研究で行ってきた情報活用能力は3年目となり、アセスメントを行い、個々の課題をつかんだ上で指導を行うことができた。今年度で一区切りとなるが、今後も引き続き各教科の学習の中で育成を図っていく。	
豊かな心の育成	縦割り班活動や学級活動で班や集団で活動する機会を計画的に実施する。	4	4	縦割り班活動では、高学年児童が意欲的に工夫したり、改善したりしながら計画している姿がよく見られた。来年度も同じペースで他学年が協働して活動する機会を設けていく。学級活動でも協力して活動する様子がよく見られる。集団での指揮は高学年に任せることが多いが、できれば低学年のうちから協働について計画的に指導していく。		・高学年がリードする姿を見させてくれることは、低学年に大きな影響を与えてくれる。教職員の方の乗せ方も上手かったのではないだろうか。縦割りは今の時代貴重 ・兄弟、姉妹の少ない現在、学年の縦割り班活動に学ぶものは多い。地域行事でのキッズ・ボランティア・異学年でも「競えろ」チーム等々に見られた関係は良好な効果が生まれたと思います。来年度も継続して、異学年が自然に近い状況(意図的な合同ではなく)の集団活動が数多く生まれることを期待したい。 ・低学年同士関わる機会をもっと増やしてほしいなと思う。低学年から指導していくということにぜひ指導していく機会があってほしい。 ・既に充分なされているが、低学年のうちから協働について「計画的」に指導されるとのこと、とても期待しています。 ・コロナ以降、他学年の児童とのかかわりが少なくなり残念に思っていました。交流を通して学ぶことは多いと思うのでぜひ続けてほしいです。				○異学年交流について、高評価をいただいた。来年度も計画的に行っていく。 ○地域行事でのキッズボランティア・異学年チームによるボッチャなども継続し、更なる集団活動も探ってきたい。 ○地域での交流場所などについても、積極的に提示していきたい。	
	いじめ調査を年に3回以上行い、実態を把握し早期発見・早期対応に務める。	4	3	年間計画にいじめ調査や、アセス(学校適応尺度)実施計画が組み込まれているので、この機会を使って早期発見・対応できたと評価する教職員が多かった。いじめ対策委員会、生活指導学会といじめに関して情報共有できる場は多くあるものの、その機会をより有効に活用していく工夫が今後の課題。		・いじめについては、いじめた側の心の原因への対策をしないと繰り返される。いじめをする側の心的原因へのケアも確実に行ってほしいです。 ・いじめに対して学校全体での対応は、評価できますが、「いじめ防止」対策は、継続的な広報活動が必要でしょう。いじめ対策委員会、生活指導学会などの存在が見えませんでした。「今年度の具体的方策」の柱とするなら「いじめ対策強化月間」や、「生活指導だより」での広報活動が欲しいところです。 ・いじめ調査の内容をあまり伺っていないかとも思う。実際いじめってあるのでしょうか？先生方で共有できているのはいいと思う。 ・権利教育、他を認める多様性への配慮など、これからも継続して取り組み宜しくをお願いします。 ・いじめ調査、アセス実施、対策委、学会…。ご多用の中でたいへん充実した取組がなされていると思います。 ・年間計画に組み込まれていて気づいていただける機会があること、対応していただけたのはありがたいです。				○いじめ防止に関する広報活動について、便りやホームページ掲載や保護者会での周知など積極的に行っていくことで、家庭や地域の理解を深めるとともに、児童の意識を高めていく。	
健やかな体の育成	体育の授業だけでなく、朝や休み時間、体を動かす楽しさを伝え児童の運動への意識を高める。	3	3	朝遊びや体力旬間で体を動かし体力向上への素地づくりに努めた。事前に遊ぶ内容を決めておいて時間を有効活用したり、新しい遊具で身体を使って楽しむ意欲の向上に繋がったりした。積極的に身体を動かす児童と、校舎内で過ごす児童の二極化があり、運動の大切さを考えさせる声かけを継続していきたい。		・休み時間はメインの目的は本来は「休憩」。そこは子どもの選択に任せることが大事かと思います。外に行くことを選びたくなるアイデアや遊びを提案するしかないですね。 ・清瀬は公園等が少なく、運動の場がない。校庭は貴重な存在です。休憩時間、放課後の利用などの努力は評価できますが、さらに他校にみられる様なスポーツ中心のサタデースクールの開設を提案します。地域住民指導の形をとれば、地域の教育力の養成にもなります。 ・先生(大人)からの声かけが継続してくれたらいいなと思う。肯定割合を上げていってもらいたい。 ・放課後の遊び場、居場所、校庭の活用地域の力も借りられるとよい。見守りのための予算化は必須。 ・運動が好きでない児童には、まず意欲を育むために「楽しい!」ことが重要。運動の大切さを考えさせることと楽しさをつたえることを引き続き行っていくください。 ・校庭開放されていても、ランドセルを置いてからまた学校に行くのは、ハードルが高いらしいです。ゲストティーチャーの塚原さんの授業ではみんな楽しんで動いていたと思う。楽しく体を動かす工夫を考えて声かけしていただけるのは、続けていただきたい。				○今年度のドッジビーの導入は、児童の「運動する楽しさ」を重点として、授業や朝遊び、体力向上旬間での工夫をしていく。 ○東京都の事業である「笑顔と学びの体験プロジェクト」で、来年度もスポーツ体験を行うこととなった。ゲストティーチャーによるスポーツ体験教室も、学年ごとに定着しているので継続する。	
	食事、睡眠、運動や清潔について学級指導を学期に3回以上指導を行う。	4	3	長期休業中や、にこにこ生活カード実施に併せて全学年で目標値を上回る回数の指導を行うことができた。児童・職員アンケートから挨拶の励行に対して課題が残る。教職員のアンケートから児童の生活に関する行動変容は家庭との連携が重要であることから、家庭と連携した教育の重要性を訴える意見が多く出た。		・あいさつの徹底は難しい課題ですね。「あいさつされたら返しませうね。」でよいのでは。色々な性格、育ちの子がいるので、この項目は学校だけで行うには限界があると思います。・地域の居場所や子供食堂を児童に積極的に提示することも必要かと思います。 ・生活習慣の指導について、学校の努力だけではなく、家庭との連携は欠かせない重要課題です。一方、食事、睡眠、運動、清潔、それぞれのテーマについて、地域の講師から印象に残る方式での指導も有効ではないでしょうか。「挨拶の励行」も、児童と地域との交流から定着させるのも方法でしょう。 ・あいさつが保護者子ども共にしないということに驚いた。にこにこ生活カードに書かれていない家庭の様子が気になりました。 ・取組は充分になされており、成果が「3」であるのは素晴らしいこと、家庭との連携のご努力に頭が下がります。 ・にこにこ生活カードは子供に意識させることにはとても良いと思う。1週間経てて親よりのコメントを書く時ににこにこ生活カードの取組みをしていたのかと気づく時もあった。保護者も実施しなければかわらないかもしれない。				○児童の生活習慣について、家庭との連携を重点に計画していく。 ○あいさつについては、授業の中や「あいさつ週間」での取組を続けながら、教職員も日常でのあいさつ習慣を意識していく。地域との連携も行い「地域見守り隊」などの取組について呼びかける。	
特別支援教育の充実	年間計画に基づき、共同学習や交流を学期に1回以上(年3回以上)実践する。	4	4	主に学校行事に交流することが多く、その他生活科や算数などでも積極的に交流を図ることができた。年度初めに交流できそうな活動を洗い出したのが効果的だった。また、行事の前に一緒に遊んだり、準備段階から一緒に活動したりするなど交流を効果的に行う工夫も増えてきている。		・この科目は通常学級で、という対応があって、その子の表情が明るくなったという話が印象的でした。流動的な対応こそが「特別支援」だと思います。 ・特別支援学級の学校行事交流は違和感なく、両児童生徒間に自然な受け入れが見られており、学校の努力を評価します。また、通常学級の児童生徒側の得たものも多かったと思います。積極的に進めてください。 ・交流することが多いのは、七小の特色でありそのまま継続されているのはすごいと思う。 ・年度初めの活動の洗い出し◎。さらに工夫を重ね、ますます佳き交流を！ ・子供にとって一緒に遊ぶことが普通であると思える。実際、どうしてあの子はけやきなのか？といっています。色々な活動を通して個性を認めあえているのではないかとと思う。				○次年度も年間計画を立て、共同学習や交流を行っていく。特別支援学級併設の七小の特色を今後も大切にしてい進めていく。	
	特別支援研修会で学んだことを生かし、これまでの指導支援について検証し、それぞれのケースにあった支援を行う。	3	3	特別支援における「個別最適化」に関する研修や、アセスの情報をもとに具体策を考える研修を重ねたことで、特別支援の充実を図った。今後も対象を精選しながら専門家のアドバイスを活用した支援を今後も続けていく。今年度は保護者を対象に研修会を開催したこともあり、保護者アンケートでは特別支援の推進に対しての評価が高かった。		・アセスは担任が変わったり、中学に進学する際に重要はツールなので是非続けていただきました。授業を見えし、少人数の学級のメリットはとても大きいと感じました。 ・「個別最適化」をもとに具体策を練った成果は着実に出ています。穿った見かたをすれば、通常学級より特別支援学級の授業が、主体性を育む教育(エデュケーション)の本道を進んでいる感があります。満足度も高いのではないのでしょうか。 ・情緒・知的 転換の流れの中でどの子どもにも安心安全自由の権利が守られるよう地域の見守りを考えたいです。 ・保護者の評価が高いのは嬉しいことです。ますます「わからない」が減っていくことを願います。 ・特別支援の充実はすばらしいと思う。みんなが楽しくのびのびと学べる場はありがたい。子供たちの方が特別支援学級について詳しくて、どんな児童が学んでいるのか、どんな支援をしているのが知りたい。				○今年度の特別支援教育の充実として、保護者対象の講演会が良かった。保護者の理解をさらに深められるよう、次年度も講演会を計画する。 ○わかりにくいとされている「アセス」については、教員が具体策を考える研修会を重ね、必要な保護者との面談で活用できるようになっている。今後も継続していく。	
本校の特色	学校支援本部との連携を図り、地域や保護者の人材活用を積極的に行う。	4	4	七サボとの連携によりCS元年として、地域や保護者の力を大いに活用できた一年であった。新しいことにもっと活用したいといった意見も出ている。教育資源の整理があるとともに活用できる。その反面、あまり協力を得られない場面もあり、授業参観日に併せて協力をお願いするなどの工夫も必要である。		・CSのために、現役保護者、在校生も地域の一員であるという意識や愛着づくりを学校という場でもっと行っていたいです。 七サボの活動効果は、貴重な存在です。さらなる挑戦のためには、コミュニティー・スクールとの協働体制の構築が必須課題だと思います。教育資源(人的、文化的)の開発は地域の有識者、事業家、文化活動の団体、各大学のOB会等々の活動、個人の情報などのデータ収集が急務だと思います。 ・先生方の協力がありがたく、少しずつだけれども保護者や地域の理解もできてきたのかなと思う。校長先生が変わってほしくない。変わっても変わらないCSはまだまだまだな気がします。 ・保護者とのやりとりがシステム化されたお話を伺い、関係団体職員や地域関係者とのやりとりも電話訪問以外のツールがあると先生方の電話対応の手間を減らせるのではないと思いました。 ・「あまり協力を得られない場面」日程、内容などからどうしてもあることと思います。自分にてきことをしていきたいです。(七小担当民生児童委員への参加の働きかけがうまく進まず欠員も多く申し訳なく思っています) ・ミシンのボランティアは日にちが合わず行けませんでした。授業参観日はいいと思います。				○ななサボによる活動効果は高評価をいただいた。さらに発展させるため、コミュニティースクールと地域との協働体制として、人材の情報・連絡ツールなど更に充実させていく。 ○地域の方々が教育活動に参加しやすくなるよう、広報活動もさらに充実させていく。	
	ホームページの充実を行うために、休業日以外にできるだけ毎日更新を行う。	3	3	毎日ホームページをほぼ毎日、行事毎の進捗状況や日常の学習活動の様子など、リアルタイムに発信することができた。今後も日頃の子供たちの様子などを掲載して学校での教育活動を発信し、保護者や地域の皆様の理解を得ていきたい。		・ホームページ発信については、保護者の回答はA+Bで94%。これはすごいことだと思います。今後は地域とつながった教育という点について新たな項目を作っていたらと思います。 ・毎日の情報発信に敬意を表します。内容はもとより記録としての価値もあり評価は高い。あとは、アクセス状況の把握です。情報量が増えるに従って、アクセスも複雑になるであろうからアクセス環境を分析して保護者(読者)に見易い工夫(目次、リンク、構成等)が必要となるでしょう。 ・HPの発信で様子がわかるのはありがたい。 ・タブレット持ち帰りを検討するお話があったので、WiFi環境の用意が難しい家庭に配慮できるように放課後の自習室などにWiFi環境があるとよい。 ・ホームページはたいへん充実しており楽しみです。 ・写真などから雰囲気も伝わってきて、子供との会話のきっかけにもなると思う。給食の写真を楽しみにしています。人気メニューのレシピがほしいです。				○ホームページ発信を充実させるため、見やすくなるよう内容の項目などを見直し、整理していく。	